



第5次兵庫県環境基本計画の改定

環 境 部

はSDGsに取り組んでいます



計画改定の必要性

環境の保全と創造に関する条例 第6条

環境の保全と創造に関する施策の総合的かつ計面的な推進を図るための**基本的な計画**

第5次環境基本計画（現計画）平成31(2019)年2月策定

2040年頃を展望しつつ、2019年度～2030年度（令和12年）まで
社会経済情勢の変化に対応するため、中間で見直し

脱炭素 (カーボンニュートラル)

(国) 2050年カーボンニュートラル宣言、地球温暖化対策計画の策定

(県) 2050年カーボンニュートラル表明、兵庫県地球温暖化対策推進計画の改定

生物多様性

(世界) 昆明・モンリオール生物多様性枠組が採択

↳ 2030年までに陸域と海域の30%以上を保全する「30by30目標」など

(国) 生物多様性国家戦略2023-2030の策定

(県) 生物多様性ひょうご戦略の改定(R 6 (2024) 年度改定予定)

水素エネルギー

(国) 水素基本戦略の改定

(県) ひょうご水素社会推進会議、西日本初 燃料電池バスの運行開始

脱プラスチック

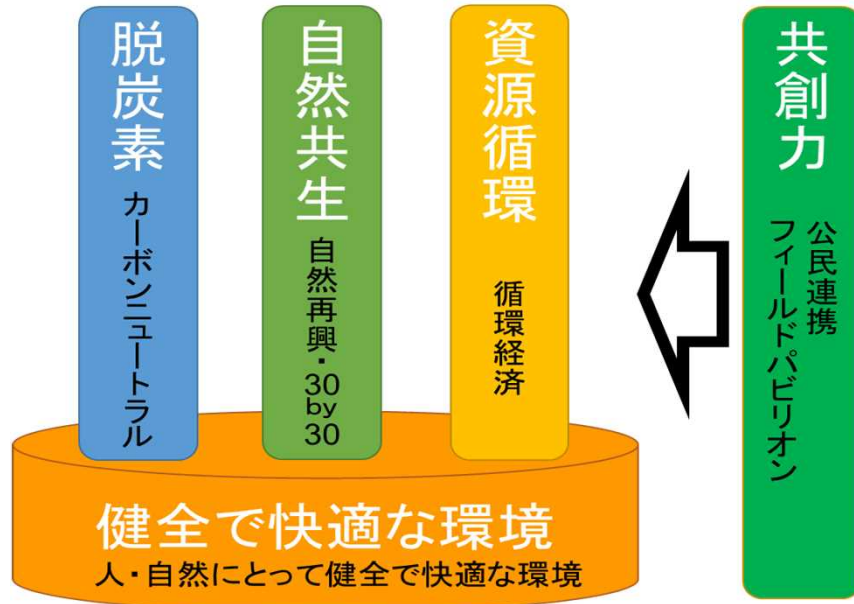
(国) プラスチック資源循環戦略の策定、プラスチック資源循環促進法の施行

(県) プラスチックごみゼロアクションの開始

計画期間の中間年である **令和6(2024)年度末を目途に見直し**

計画見直しの視点

環境政策の統合的な推進



- ▶ **脱炭素・自然共生・資源循環が基軸**
相互間のトレードオフを回避しつつ、相乗効果が出るよう統合的に推進
- ▶ **健全で快適な環境が土台**
人だけの安全でなく、人と自然にとって健全な環境
- ▶ **共創力が政策を推進**
公民連携・フィールドパビリオン

環境・経済・社会の統合的な向上（SDGsの推進）

・環境面の対策が経済・社会面の課題に貢献

(例) 地域循環共生圏の形成、コウノトリ育む農法などの環境創造型農業、藻場再生やブルーカーボンの活用、水素エネルギーの活用、自然(六甲山・上山高原等)・農業遺産(但馬牛等)の体験ツーリズム、尼崎21世紀の森構想による環境改善・都市再生 など

・経済・社会面の対策が環境面の課題に貢献

(例) 持続可能なライフスタイル(資源循環・脱炭素等)の浸透、カーボンプライシングによるGHG排出量削減
デジタル化によるペーパーレス化 など

豊かで持続可能なひょうごの実現

成長だけではない豊かさ、人・自然すべてにとってのWell-being

スケジュール

日 程	内 容
令和5年7月28日	環境審議会全体会 第5次計画見直し（諮問） 環境基本計画検討小委員会の設置（報告）
10月頃	検討小委員会（第1回） 現状把握・課題整理
12月頃	検討小委員会（第2回） 計画骨格
令和6年3月頃	総合部会・検討小委員会（第3回）合同開催 計画骨子案
6～10月	検討小委員会（第4回、5回） 計画案の検討
12月頃	総合部会・検討小委員会（第6回）合同開催 第6次計画案・答申
令和7年2月～3月	県議会上程 計画策定